紫翠会第七百六十六回 . 例 会御 通 知

会例さ拝 員会て啓 のな紫 皆ら翠本 様び会年 に に で も は 忘 は 残 年今り御会後僅 多をのか忙開学と 中催会な -と致とり、 は存じますがますのさられ なさ を 発 増 展す を今 念日 じ此 つ頃 つで、す

る 左記 の ように 本 年 度 最 後 の

が 多 数 御 参 加 下 さ しし ま す よう御 案 内 申 L 上 げ ま

す。

日 時 平 成 + 五 年 十二月十 日 水) 午 後 六 時 時 間

厳

ル

内二階

会 場 関 電 会 館 一・二号室 (大阪 市 北 X 中之島三丁目三の二十二 関 電ビ

講 演 者 吉 野 勝 美 氏 大 阪 大学)

演 題 自 然 に 学 び、 調 和 す る 新 素 材と

夢ナ シがあり、コノテクノ 楽 口 しずいし 科 学 技

参 加 費 三千 円

ま十な で御芳して 万名をお知らせ下*一十五日までに関西1、表の方は御多用中 さ西中る電と よ力は うお客され います 致本が し部準 まネ備 ッの す。 9。(七ワーク:0都合があ) 技り 五七八八 投術高度化推! 理進グループ 水野必ず出欠をまとめて て

+ 月 + 八 日

次次 回回

松 明 下 電 電舎 I

Þ

(二月二十五日)

幹

事 Ξ 瓶 水 野

樣

翠

紫